



財団会員ロング・インタビュー。記念すべき第一回目のゲストは株式会社 Pinto! 代表の小林七穂さん。過去体験した家族崩壊の危機や財政難など、それらを乗り越え OL から起業家に至った経緯を語って頂きました。

### ～留学から一転、家族を襲った危機～

三木「本日はよろしくお願ひします」

小林「よろしくお願ひします」

三木「では、自己紹介をお願いします」

小林「はい、小林七穂と申します。現在は株式会社 Pinto! というクリエイティブの企画プロデュースをしている会社の代表を務めております。東京生まれ東京育ち。高校の時にカナダのバンクーバーに3年ほど留学していました。帰国し大学を卒業し、エンターテイメント会社に勤めました。そんな経緯から今は映像制作やデザインなどをおこなっている状況です。」

三木「ありがとうございます。小林さんがクリエイティブ的な起業に至った経緯をお話いただけますか？」

小林「私の中で起業に至った経緯と起業を目指す、ということとはちょっと違うものでして。一番最初に起業というより独立しようと思ったきっかけは、カナダ留学中にちょうどリーマンショックが起こりまして。その時の影響で家庭が財政難になってしまい・・・家庭環境が悪くなり、帰国してからも両親が仲の良い状態ではなかったんですね。そんな状態の中で、最終的には自分が自立していかないと生きていけないと単純に思いました。」

### ～お金の執着が生んだ「ショック過ぎる」出来事～

三木「うーん、なるほど。」

小林「後もう一点は、両親を守るためにと言いますか、自分が独立をしないと難しいなと思ったというのがあります。とは言え、まずは就職することを決意するのですが、就職活動のタイミングでたまたま知り合いの同年代の女性が海外で起業するんですね。それを間近で見たときに、自分にも起業という選択肢があるんだということを知りながら、なんとなく過ごしていました。」

最終的には起業しようとするのですが、とにかく稼がなければ!!という意識が凄くてですね(笑)お金を稼ぐにはどうしたらいいのか?と考え過ぎた結果・・・詐欺にあって。」

三木「ええ!?詐欺?」

小林「はい。その結果、そもそもお金に執着してたくさん稼ぐことを起業の目的にすることは違うんだと学びました。そこから一旦、今の仕事を頑張ろうと思ったんですね。当時勤めていた会社の仕事をひたすら一生懸命にやるといって半年が続き。それでも、半年たってふと、やっぱり起業したいな、と思って。そこからなぜ?起業したいのか?とか見つめ直しまして。勤めていた会社のクリエイターさんが夜遅く出社してきて朝まで仕事して、でも給料は少なく生活が立ち行かないなど、そういう人達を間近で見たり聞いたりしてしまっていて。そんなクリエイターのために出来ることがあるんじゃないか?と思い、場の提供が出来るかもしれないと思ったのが起業のきっかけでした。」

三木「なるほどですね。色んな経緯があつてここまで来たわけですね。」



小林「はい。そうですね。」

### ～間違えたマインドと一切無かった「志」～

三木「様々な思いがあつて起業に至ったわけなんですけど、起業してここまで来た中で苦労された点やきつかったなあ、と思ったことって何かありますか?」

小林「起業しよう!と思った所から実際の起業に至るまで5年ほどかかっているのですが、行動に起こすまでに凄く時間がかかったのと、間違えたマインド(お金への執着)で起業しようと思っていたので、志が何もなかったという状態だったことです(笑)。自分のことだけしか考えておらず、  
⇒⇒⇒裏面に続く

結果詐欺にひっかかったというのもとても辛かったですし。

でも、そこも含めて自分の起業の考えは違ったと気づけた所ではあるのですが。実際に起業するとき、何をテーマにしたらいいのか？何を題材に会社を作ればいいのか？という葛藤も結構あって。自分の使命と言いますか、何に興味があってどんなことを提供できるのか？ということに気付くこと自体も苦しかったし、自分を見つめ直すのも苦しくて。延々とモヤモヤした日々を過ごしていたので、その辺りが苦しかったと思いますね。」

三木「なるほど・・・。ちょっと聞いていいのか？わからないのですが、先ほど詐欺という話がありましたが、どんな詐欺だったのですか？」

小林「はいはい（笑）。何と言いますか、情報教材みたいなものなんです『10万円稼ぐためにはどうしたらいいのか？その答えはこの手紙の中に書いてあります』というビジネスがありまして。」

三木「ええ？そんなビジネス？あるんですか。」

小林「はい・・・。で、その方法を知りたい場合は10万円払ってください！というものでして。そして、その手紙を開けると中には『この手紙を売ってください』と書いてありまして。」

三木「うーん、詐欺ですね（笑）」

小林「（笑）そういうビジネス？です。」

三木「すごいですね。ビジネスと言えないみたいな（笑）」

小林「はい（笑）」

三木「そうでしたか・・・嫌になっちゃいますね（笑）」

小林「嫌になっちゃう（笑）でも、それにひっかかるということは、そういうマインドだったということ。自分がお金欲しい！お金欲しい！と思っていると、お金が欲しい人達を喰いものにする人達が集まってくるので。そういうことだったんだなあ、と思ひまして。」

三木「とても嫌な思いをしましたけど、これも一つの教訓になりましたね。」

小林「そうですね！大切な教訓になりましたし、それがあつたのでちゃんと起業を考え見つめ直すこともできたので。」

#### ～繋がっていく未来と輝きだす4つの展望～

三木「そうでしたか。ありがとうございます。そんな苦労もありながら進んで来られましたが、これから考えている展望や未来について聞かせていただけますか？」

小林「はい。今は映像やデザインなどクリエイティブ

関連をおこなっていますが、農業や留学、アパレルなどにも興味があり、これまでとは観点がまったく違う事業を考えています。一見してこの4つ（クリエイティブ、農業、留学、アパレル）は全く異なるジャンルで何も繋がりがないように見えますが、自分の中では最終的に全てが一つの輪になり、連携して事業を展開できると考えています。それぞれ立ち上げる会社は違うのですが、バックグラウンドでは繋がっていく形を作っていきたいと考えています。」

三木「なるほど。一見全く違うジャンルですが小林さんの中では繋がっていて、そのような展望があるんですね。素晴らしいと思います。」

小林「ありがとうございます。」

三木「これまでの葛藤や苦悩、目指していく未来など、本日はすでに起業されている小林七穂さんにお越しいただき、色々なお話を聞かせていただきました。本日はどうも、ありがとうございました！」

小林「ありがとうございました。」

インタビュー&フォト：三木ヒロシ

### 【坂本立志塾 1day 特別講座】のご案内

これまで坂本立志塾に興味があった方、こんなことはありませんか？「起業することに興味はあるけど、一歩が踏み出せない」「改めて自分のビジネスを見直し進化させたい」そういう方に朗報です。今回、その第1回目の講義を体験いただけるようにさせていただきました。第1回目は、「真志命の確立」です。右記からお申し込みください。



#### ～編集後記～

今月号から始まった財団会員ロング・インタビュー。人にはそれぞれのストーリーがあり、起業を考えた、決意した経緯もそれぞれ違うものです。今回は小林七穂さんのお話を聞かせていただきましたが、大きな苦悩を体験しながらも起業を決断し、これから展開していきたい未来など、とても感銘を受けました。

来月以降も素晴らしい財団会員さんをご紹介します！お楽しみに！